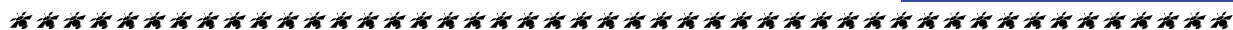




とつか

2020年10月会報 第312号

- 国際会長(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)
- 2020 主 題 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ)
- スローガン “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
- アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)
- 主 題 “Make A Difference” 「変化をもたらそう」
- ～ スローガン “INSPIRE” 「奮い立たせよう」
- 東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)
- 主 題 「変化をたのしもう！」 “Let’s enjoy Changes.”
- 副 題 「助け合い、分かち合い」 “Let’s help and share each other.”
- 2021 湘南・沖縄部部长(DG) 古田 和彦 (横浜)
- 主 題 「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう」
- クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 直前会長 浦出 昭吉 書記 加藤 利榮 会計 岡 進



会員ひと言

岡 進

～新型コロナと好奇心とYMCA～



いまだ新型コロナの影響が収まらず、外出して何かを体験・鑑賞したり、人と会って歓談する機会が減っている。それにより知らず知らず視野が狭くなり、内向き指向になってはいないか。限られた情報源に依存することによる偏見も生まれかねない。ここはひとつ意図的に外の世界に触れ、好奇心を刺激し、知識・智恵を増やすことを心掛けたい、…とは言ってもむやみやたらに人混みは避けたい。

そういう意味で私が重宝しているのは、鎌倉 YMCA でのイングリッシュセミナー。参加人数を絞るなど工夫しながら再開している。月1回のペースで、様々な国の人が1時間半ほどあるテーマで話をし、聴講者とも活発な質疑応答がある。南アフリカの社会現状、カナダのキリスト教系一派のユニークな伝統的生活、ドイツと日本の150年以上にわたる交流史、ヨーロッパと日本のクラシック音楽の違い、カメルーンの人々の生活、在日米軍の存在意義、日系ハワイ人の歴史と現状…etc. 米国人女性が久米島の魅力を熱心に語ったこともある。

英語が堪能な参加者も多いが、私のような者でも十分に楽しめる。今まで自分がいかに世界・日本の多くのことを知らなかったかが実感でき、好奇心が心地よく刺激される。もう少し英語が出来ればもっと楽しいのだが…。

◎今月の聖句◎

わたしの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。

～コリントの信徒への手紙一・15章58節から～

人生にはさまざまな「労苦」があります。これを感情だけで受け止めてはなりません。すべては神さまからきています。無意味なものは一つもありません。それには必ず私たちにとり、益となり教訓があります。

強調月間 EMC/E・YES

Extension, Membership & Conservation のうちの一番目、「エクステンションの月」です。“クラブの新設・クラブ作り”を意味します。ワイズの強化・安定には欠かせない運動の一つですね…。特に私たちが今提唱し・推進している“Change! 2022”が目指す最重要ポイントです…。次に YES, Y's Extension Support、新クラブの設立を目的とする基金で、そのために設けられる国際的基金のことで、同基金はエリアに還元され、区で使われることになっています。国際からは、今期も @500 円以上の拠出要請がきております(ロースター7 ページ参照)。

9月在籍者数	9月出席者数	出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOP・A S F	B A P Y	ロ	バ
メン	12	メン	9	83%	他	(円)	(g)	(円)	(円)	(円)	(円)
メネット	8	メネット	2		前月迄		0	0	0	0	0
		ゲストら	0		当 月		0	0	0	0	0
計	20	合 計	11		累 計		0	0	0	0	0

★強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う★

☆9月第1例会報告☆

若木 一美



日時：9月4日(土)・18:30～20:00
場所：湘南とつかYMCA ホール
出席者：(メン) 岡・浦出・加藤・柴原・
瀬戸・土方・山中・吉原・若木
(メネット) 加藤・吉原 計)11名

沈静化しつつあると言われる「新型コロナウイルス」ですが、県内でも集団感染が発生する等まだまだ慎重な行動が求められる中、感染症対策を講じた上で9月例会が開催されました。

本日の卓話は「山中新館長大いに語る」と題し、彼女が長年取り組んでいる「発達障がい」や「寄り添い型学習支援事業」から「YMCA と困窮世帯支援」をテーマに、お話いただきました。近年、国内の様々な領域で格差が拡大していると言われ、例えば、子どもの貧困率の増加もその一つであり、YMCA では鶴見区・戸塚区・泉区及び鎌倉市の行政機関と連携し課題の解決を目指しているが、地域によりその背景事情が異なることから、それぞれの地域に合った方法で対応しているとのことであった。

また、民間の企業2社との協働で技術者を目指す学習支援 ➡

事業を展開しているが、その子らがいったん自宅へ戻ると生活環境から継続困難といったような問題もあるとのこと、館長のお話しは、子どもたちの将来に関わる大切な事業ながら、その一様でない難しさが伝わる学びのひとつでした。

事務連絡、ハッピーバースデー、記念撮影があって、夕食とコグニサイズ抜きの例会も無事終わりました。

～～多摩川〈ろくごう〉を越えられない鈴木ひろ子さん
来月はお目に掛かれるかなあ……～～



☆第88回Y-Ys協議会から☆ 若木 一美

日時等：9月1日(火)19:00～20:30・中央YMCA501号室
出席者：古田部長他クラブ会長・クラブ担当主事ら20名



会場の501号室に入ると、異様な光景がありました。1クラブ・1本の机に2人が着席、その前には、各自1台のパソコンが備え付けられ、正面には大型モニターが設置され、画面にはリモート参加の美男・美女がこもごも映し出され、爽やかに弁じておられました。

定刻開会、佐竹総主事の録画が流され、古田部長の挨拶があって、議題はチャリティーラン。井藤・青木職員からオンラインによる開催の説明、盛り上がりや幼児対応策等々質問があり、ともかくやってみよう…!という雰囲気でした。

報告は、YMCAがオンライン開催したエイズフォーラム、留学生支援募金や豪雨災害募金への協力依頼がありました。

各クラブからは、事業の実施・遂行の難しさ、例会開催の工夫等が披露されました。終りに、部長から10月3日の部大会への参加依頼があって、定刻少し前に終了しました。

通信環境や機器の操作、リモートによる参加者の寛いだ雰囲気に馴染めば、こうした協議会も実効が挙がることでしょう。

TVニュースなどで観る小学生のリモート授業、この世代が成人になる10年後には日常化されるかなあ…と、つまらないことを思いながら、帰途につきました。



☆第2例会報告☆ 若木 一美

日時等：9月15日(火)・18:30～20:00・湘南とつかYMCA
出席者：浦出・岡・加藤・柴原・瀬戸・吉原(2)・若木

【報告】

① 第88回Y-Ys協議会(別掲)

横浜YMCAが例年開催してきたチャリティーランを中心に、瀬戸担当主事から説明があった。

② 横浜クラブ訪問(別掲)

メインは加藤ワイズから1時間にわたった卓話、クラブからも3名が参加、期待通りの成果があった。

③ YMCAから(別掲)

チャリティーランの進め方・協力依頼等に付き、瀬戸担当主事から説明と二・三の質疑があった。

【協議】

① 10月例会を部大会に振り替える件

10月3日(土)の例会は、当日が湘南・沖縄部の部大会に当たることから例会に振り替え、とつかの会員は、大会終了後、事務連絡を予定している。

② 「つながりマスク」の件

鈴木ひろ子会員が中心になって製作、すでにトツカYMCAにも贈呈があった。

③ 今後の日程に関する件

別掲「こよみ」のとおりとするが、11月3日の「Y祭」の扱いについては、目下、関係者間で協議中である。

【その他】

「ポジティブ・ネット募金」に付き、岡会計の提案を受け、@1万円×12名=12万円を会費から支出することに決定した。

一以上

【特別寄稿】

“ISG引退して1年半”

直前国際書記長 西村 隆夫 (タイ・チェンマイクラブ)

2010年夏の横浜パシフィコでの思い出の横浜国際大会を終えて、ジュネーブの国際本部(IHQ)にメネットの久美子と赴任しました。ジュネーブはYMCA世界同盟本部を含め、国際機関が集まっているなどの価値と意義はありましたが、スイスの超物価高や我々にとって支援の必要な前線に出ていく事の重要性をもとに



多くの議論を経て、サテライト事務所を開設しISG自身がそこにベースを置くという事で、2016年にタイのチェンマイYMCAの中にサテライト事務所の開設に至り、移動いたしました。ネットでの事務運営作業で一切のハンディキャップを持つことなく大きな費用の削減ができた事は、今のコロナ禍でのリモート社会を見るに、良い判断だったと思います。

当初は、バンコックで調査を進めましたが、チェンマイYMCAの活発な活動と経費面からも皆に歓迎されてサテライト事務所を開設しました。私の後任のジョーズ・バルギースも引き続き駐在していますが、今はコロナ禍でインドから戻れず、インドから運営をしています。

引退して1年半が過ぎますが、メネットは日本で両親と孫の世話という事で日本に戻りましたが、私は引き続きワイズメンバーとして、YMCAの会員として、ゴルフを楽しみながらボランティア活動を続けられる事に感謝しております。その一つは、チェンライYが熊本Yとともに、長年、アカ山岳民族の子ども達への教育(若竹寮)を支援するために、アカ山岳民族のコーヒーの販売の促進と、いま一つは、隣国ラオスの首都ビエンチャンに東京YMCAホテル専門学校の協力を得て、ビエンチャンYMCAホテル学校設立の計画に、京都パレスクラブの大野嘉宏さん(在京都ラオス名誉領事)とともに、その調査活動に参加させてもらっています。

- 註 - ISG: International Secretary General (「国際書記長」の略)
(西村様、お忙しい中 素敵な寄稿頂き有り難うございました。)

☆横浜YMCABAPY基金委員会から☆ 加藤 利榮

日時等: 9月25日(金)18:30~20:00 中央YMCA501号室



今年度2回目となる委員会、
(Be A Partner of The Youth~子どもたち(青少年)のパートナーになろう~の略。)

今回は、2件について協議、その可否を審査しました(実際には、申請の全額を承認したいのはやまやまです…!)。ここ2、3年にわたり、BAPYを目的としたチャリティゴルフの開催など資金の供給に努めた結果、何とか要請に応えられるまでになりつつあり、委員会のムードも挙がってきています。それと、先頃来、子ども・ユース・地域支援を目指す‘ポジティブネット募金’が、来年3月末までの期限付きで1千万円を目標に始まり(写真は、そのポスターから)、当委員会もその一翼を担うこととなり、委員の一人として、今後益々、息の抜けない委員会活動に…。

☆横浜クラブで卓話を☆

加藤 利榮



前号にて紹介した様に、横浜クラブが本年生誕90年を迎えますが、その記念行事の一環として、「9月:加藤・10月:吉村・11月:高田」の順で、例会卓話を行うこととなり、9月10日(木)18:30~トップ・バッテリーとして出てきました。感染症対策から‘食事なし’、開会セレモニーの後、早速卓話に移りました。ZOOMによる参加者にも届くようにと、多少‘絶叫型’で1時間程度の想い出話に終始しました。①聴覚障がい青少年国際キャンプで学んだこと。②沖縄の思い出。③わが畏友④BF代表になって、の4つを中心の内容でした。次回、再び機会に恵まれれば、その時は‘懇談会’風にやりたいと思います。

それと、ヨコハマ時代の古い写真も多少ありますので、年誌などにご利用を…。当夜は、若木・浦出・吉原のお三方にもお出でいただきました。有り難うございました。



アンジュ通信

横浜YMCAワークサポートセンター 相馬良文

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉のとおり、短く・暑すぎた夏も過ぎ、すっかり秋の風になってきました。

ワークサポートセンターでは、9月に入るとお歳暮用の化粧箱の「仕切り折」の作業が始まります。金沢区内の紙工会社からの請負作業で、メリーチョコレートギフトボックスを毎週4,000枚~5,000枚を折り、納品します。ご自分のペースで集中できる作業は人気があり大歓迎です。また、作業の成果もはっきりと見えるので、いっそう、意欲も高まります。作業代は1枚1円程度、12月上旬までの季節作業です(写真)。この‘箱折り作業’が終わると、チョコレートの入った商品を購入し、自分たちで折った仕切り箱が使われていることを確かめ、社会の中で役立っていることを実感できる瞬間です。おいしいチョコレートもみんなで頂き、大満足で締めくくりとなります。



～今年のチャリティーラン～

今年度のチャリティーランは、コロナウィルス感染防止のため、例年のように MM21 地区の特設会場で参加者が一堂に会しての開催方式に代え、オンラインを活用し、開催趣旨を損なうことなく安全に運営すべく、横浜 YMCA では準備を進めております。

付いては、以下の事項についての協力が必要となります。

- ① ワイズメンズ各クラブのチームスポンサーへの協力
例年と同じような形で宜しくお願いします。
- ② クラブごとのチャリティーラン応援動画作成への協力
クラブの活動紹介（2分以内）：YMCAのHPにより紹介
- ③ 受賞チームの選考
クラブごとの特別賞の選定をさせていただきます。
大会終了後に、動画や写真を参考に選定します。
クラブファンディングによる外部からの支援にご協力をお願いします。
- ④ 大会オリジナルグッズ（Tシャツ・マスク）の購入協力
販売価格の一部が、支援金となります。
横浜とつかクラブの皆さん、宜しくご協力の程を…。



☆今月の歳時記から☆

‘薄すすき’ と ‘秋風 あきかぜ’

‘薄’、秋も九月を過ぎると、黄褐色もしくは紫褐色の花穂を出す。この花穂が獣の尾に似ているので「尾花」という。秋の七草の一つとして知られ、またお月見にはなくてはならない草である。丘や堤の上などに株をなして生えているのもいいが、野一面、山一面をおおって茂り、風に吹かれてなびき光るのは壯観である。「芒」とも書く。

山は暮れ野は黄昏の芒かな	蕪村
夕闇を静まりかへる芒かな	暁台
折りとりてはらりと重き薄かな	蛇笏

次に‘秋風’、西南から吹いていた風が、いつしか西に回って、日々冷気を加えていく。「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞ驚かされぬる」（古今和歌集・藤原敏行朝臣）など、古くから、秋風を詠った詩歌は少なくない。また、秋風の白く光った感覚に驚いて詠ったものも多い。

石山の石より白し秋の風	芭蕉
なきがらや秋風かよふ鼻の穴	蛇笏
わが御時を離れゆく声秋風に	節子



☆10月・11月のこよみ☆

- >10/3 (土) 湘南・沖縄部大会：湘南とつか YMCA ホール
- >10/8 (木) 横浜クラブ第1例会：関内中央 YMCA/18:30
- >10/20 (火) 第2例会：湘南とつか YMCA 205号室/18:30
- >11/3 (祝・火) 湘南とつか YMCA の‘Y祭’：未定
- >11/7 (土) 第1例会：湘南とつか YMCA/18:30
- >11/14 (土) 横浜 YMCA チャリティーラン…別掲
- >11/17 (火) 第2例会：湘南とつか YMCA 205号室/18:30
- >11/30 (月) 湘南とつか YMCA 運営委員会/18:30

～Happy Birthday～

有田美幸さん 10月11日
若木祥子さん 10月9日

【掲示板】

会長

◎ 10月の第1例会について

- ① 湘南・沖縄部大会に振り替えます。
- ② 会場は湘南とつか YMCA1 階ホール・15:00：式典のみで、懇親の集いはありません。
- ③ 基調講演「環境問題を考える」講師：鈴木弥也子氏
- ④ 会費：1,000 円
- ⑤ 当日は、13時から同一場所にて、次期部長選考委員会が開かれますので、クラブ役員の皆さんのご出席をお願いします。

◎ 10月20日(火)第2例会について

- ① 予定通り開催します。
- ② 大事なご相談がありますので、是非ご出席をお願いします。

◎ 10月8日(木)横浜クラブ第1例会について

- ① クラブ90周年行事の一環として、9月には、加藤ワイズによる卓話でしたが、今月はその第2弾、元総主事の吉村恭二さんが卓話されます。
- ② とつかクラブが誕生した時(1994.3)の総主事です。ご都合のつく方は是非ご出席ください。

◎ 11月3日の‘Y祭’について

- ① コロナ禍により『すべて中止』とするか、『大幅に規模を縮小』の上、開催するか、現時点では不明です。
- ② 地元商店会との絡みもあることから、関係者間での協議を俟って早急に決めたい由です。
- ③ いずれにしても、例年開催の‘Yバザー’は中止とのことです。

◎ 横浜 YMCA のチャリティーランについて

- ① これもコロナ禍により例年開催の‘やり方’でなく、別掲『YMCAだより』に瀬戸担当主事が書かれている形での開催となります。
- ② ご理解のほどよろしくお願いします。

(後記)

コロナ禍…と言われながらも、季節は確実に移っています…。

いまこそ Change!2022 ～… (T/K)